

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」について

学校教育目標「自ら考え 支え合って たくましく伸びる子」

令和6年度重点目標「岸野の良さを実感し、友や保護者、地域の方々と一緒に、心身共に豊かな生活を自ら創り出していく児童の育成 ～一人一人が輝く学校をめざす～」

教育の指針

わか竹の伸びゆくごとく
子どもらよ
眞すぐにのばせ
身をたましひを

子どもの実態

- ・興味や関心のあることに自分から係わって学ぼうとする意欲がある。
- ・必要以上に周りが気になり、自分から主体的に取り組むことを避ける。
- ・適切な人との関係を築く経験が少ない。

佐久市の教育のめざす姿
「生涯にわたり主体的・創造的学び、生きる力を育む人づくり、まちづくり」
めざす子ども像
「自ら考え、夢と志をもって、ともに未来を拓く子ども」

失敗を恐れずに取組み、学びつづけていくこと、また、創造性を働かせ、ものやこと、人と係わる中で、つながりを大切にしながら、誰もが豊かな生活を目指していかれるよう、主体的、協働的に取り組んでいく子の育成。一人一人の良さを認め合い、自己選択、自己決定、自己実現できる児童。



どんな力が身につくのか

- ・自分らしさ、自分の良さ、強みを自覚し、それを活かそうとする。
- ・多様な他者との対話を通して、よりよい解決の糸口を探そうとする。
- ・将来にわたって自らを成長させようとする資質や能力が身につく。
- ・自分の思いや願いを素直に表出し、友と豊かなコミュニケーションを図る力が身につく。



具体的な取組み

- ・児童がつくり出す行事や活動の創造と探究的な学びを大切に学習活動
- ・学級、学年を超えて他者と関わり合う時間の確保（思いや願いを表現する場、協働的に取り組む場の設定）
- ・図書館の蔵書やICTの利用、現地へ出かけていっての調査学習等、体験的な学びの重視、読書活動の充実
- ・主体的に取り組む家庭学習の励行

子ども達の成長をどのように支援するか

- ・児童がやってみたいと思う課題を通しての学習活動の推進（探究的な学びの時間の位置づけ）
- ・やわらかい結びつきを基盤とする学級づくり
- ・保護者や地域の方々と連携した社会とつながる学習
- ・ルールや規律を守ることへの適切な指導
- ・将来につながる希望や願いの醸成のための具体的な方法や筋道を考える場をもつ。